

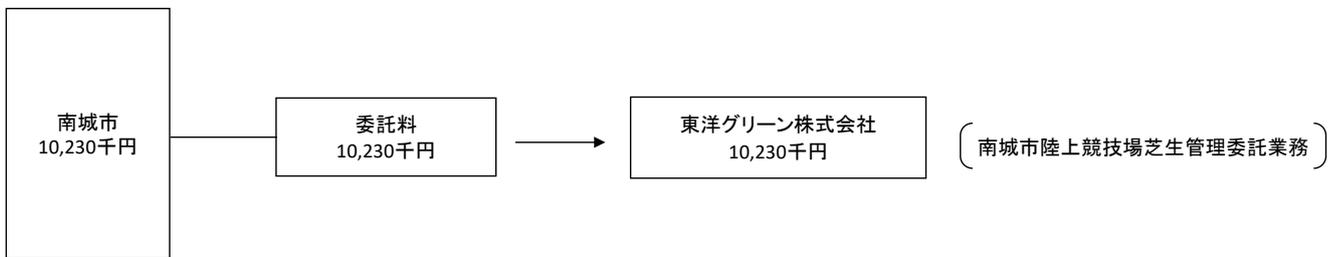
市町村名		南城市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	スポーツツーリズム推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部課名	教育部 生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立	
事業内容	市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、プロ・サッカーチームのキャンプ受入に適した環境整備を行うことで、プロ・サッカーチームのキャンプ誘致に繋げる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	12,690	13,284	13,284	13,519	10,230
	(b) 予算現額	12,690	13,284	13,284	13,519	10,230	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	12,690	13,284	13,284	13,519	10,230	
	B. 執行済額	12,636	13,262	13,229	13,365	10,230	
	うち交付金充当額	10,180	10,609	10,583	10,692	8,184	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.6%	99.8%	99.6%	98.9%	100.0%	
予算の状況の説明	当初計画に基づき予定していた事業内容は全て実施できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	良質な芝生を維持する為の適正管理	目標	( 適正管理の実施 )	( 適正管理の実施 )	( 適正管理の実施 )	( 適正管理の実施 )	
		実績	適正管理の実施	適正管理の実施	適正管理の実施	適正管理の実施	
	目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )		
	実績						
達成状況説明	天然芝を良質な状態で維持するため、①シャッタリング作業 ②エアレーション作業 ③パーチカル作業 ④スリッティング作業 ⑤ドリルエアレーション作業 ⑥液剤散布作業 ⑦目砂散布作業を実施し、キャンプ誘致の環境整備を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム以上	目標	(                    )	( 3チーム )	( 3チーム )	( 3チーム )	(                    )
		実績		1チーム	2チーム	1チーム	
	目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	
	実績						
進捗状況説明	キャンプシーズン1月中旬から2月上旬においてプロ・サッカー1チーム(ジェフユナイテッド市原・千葉)を受け入れることができたが、1月中旬予定していたチームが新型コロナウイルス感染症の影響で沖縄キャンプ中止になり、その後もキャンプを実施するプロ・サッカーチームがなく、目標を達成することができなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>コロナ禍によりサッカーキャンプが中止となる事態が続いているが、サッカーキャンプ地としての本市の需要は高い状況にある。</p>	<p>本市がキャンプ地としての地位を確立するためには、市民の方々や関係団体の理解や協力が必要なので、キャンプ球団と地域との関係構築を図る必要がある。</p>

今後の取り組み方針
<p>キャンプ球団と地域との関係を構築するために、キャンプ球団の選手や関係スタッフによる市内サッカーチームへのサッカー教室、指導者育成教室等(オンライン教室も含む)を実施できるように、キャンプ球団とも調整を行っていく。</p>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
10,230	10,230	8,184	2,046	0



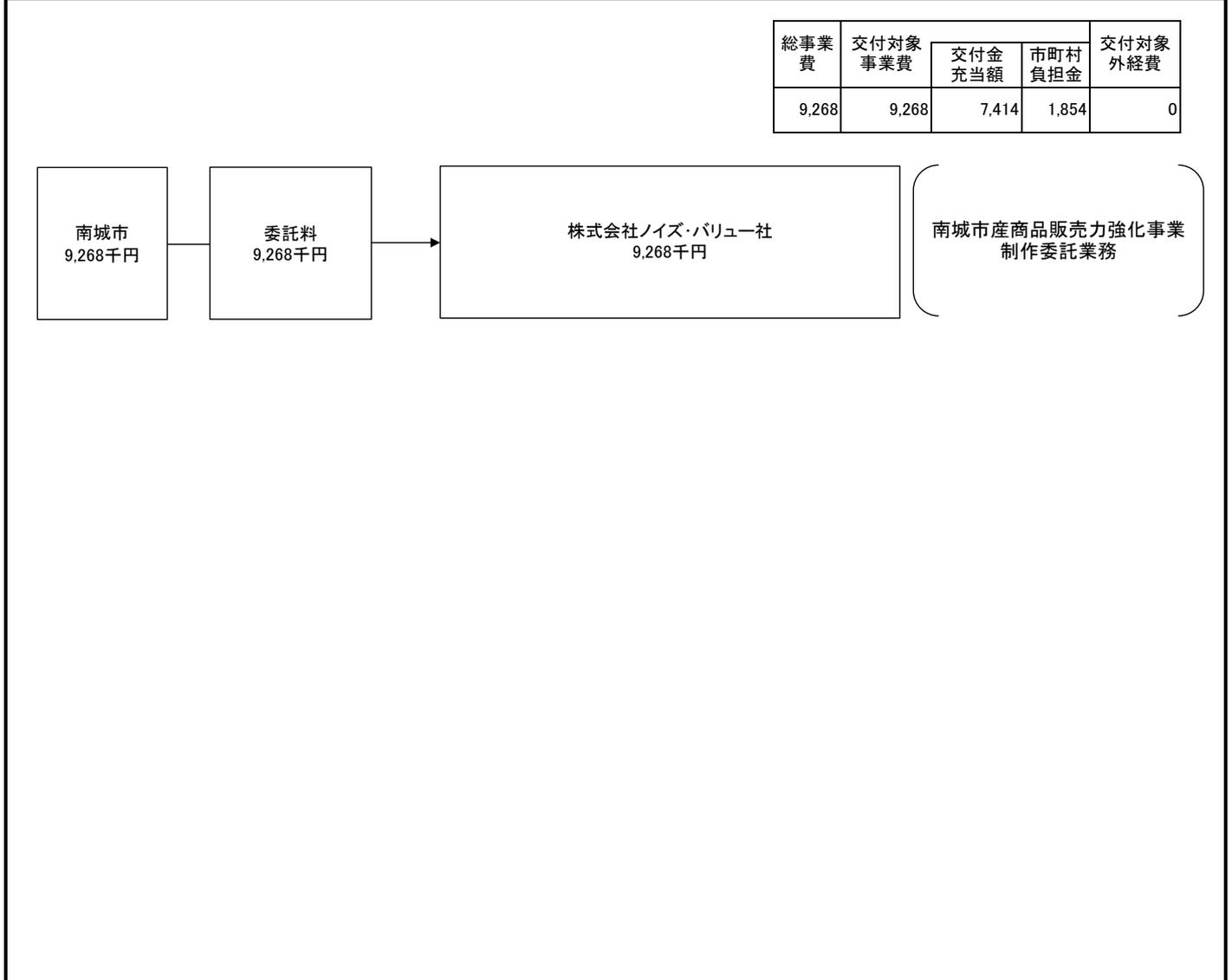
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○陸上競技場の使用状況と芝生や土壌の状態を把握できる業者と契約を交わす必要があるが、業務の性質から競争入札に適さないと判断し随意契約としているため、選定方法は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予定通り事業実施でき、事業規模も適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南城市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	南城市産商品販売力強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ	
担当部課名	企画部 観光商工課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化	
事業内容	市産商品の売上強化と販売力強化を図るため、ECサイトでの販売開拓および市産商品のブラッシュアップに取り組む。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	12,000	10,000	10,000		10,000
	(b) 予算現額	12,000	10,000	10,000		9,987	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0		▲ 13	
	(d) 繰越額	-	-	-		-	
	A. 計(b+d)	12,000	10,000	10,000		9,987	
	B. 執行済額	11,945	9,990	9,964		9,268	
	うち交付金充当額	9,555	7,991	7,971		7,414	
	次年度繰越額	0	0	0		0	
	執行率(%) (B/A)	99.5%	99.9%	99.6%		92.8%	
予算の状況の説明	概ね予算取り執行する事が出来た						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	セミナーの開催	目標	(      )	(      )	(      )	(      3回      )	
		実績				3回	
	市産商品のブラッシュアップ	目標	(      )	(      )	(      )	(      6事業者      )	
		実績				6事業者	
	通販サイトへの販路開拓	目標	(      )	(      )	(      )	(      1サイト      )	
実績					1サイト		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティングや販売機会の創造力などのノウハウを共有する機会を設けるためセミナーを3回実施した。</li> <li>・市内6事業者に対しECサイトでの販売の方法の指導を行った。</li> <li>・お取り寄せグルメで有名なサイト「こっくさん.com」へ特集ページを掲載し、南城市の特産品のECサイトへの販路を拡大した。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      15%増      )	(      )
	実績				16%増		
	進捗状況説明	・コロナ禍の影響によりECサイトでの需要の高まりが市産品の売り上げ増につながった					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でお取り寄せの需要が高まり、ECサイトでの商品消費も増えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる売り上げ向上のために、地域資源を生かした商品開発による通販サイトのラインナップの充実を図る必要がある。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を生かした商品開発や市との関連企業と市産商品とのコラボ商品開発を行い通販サイトの商品充実を図り、県外客などのお取り寄せ需要に応え販売促進を図る。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は、プロポーザル方式で選定を行い妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は適正であった。 ○事業内容や事業所の育成の視点から考慮し出店費、協賛費などから判断しても妥当であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、市について清算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

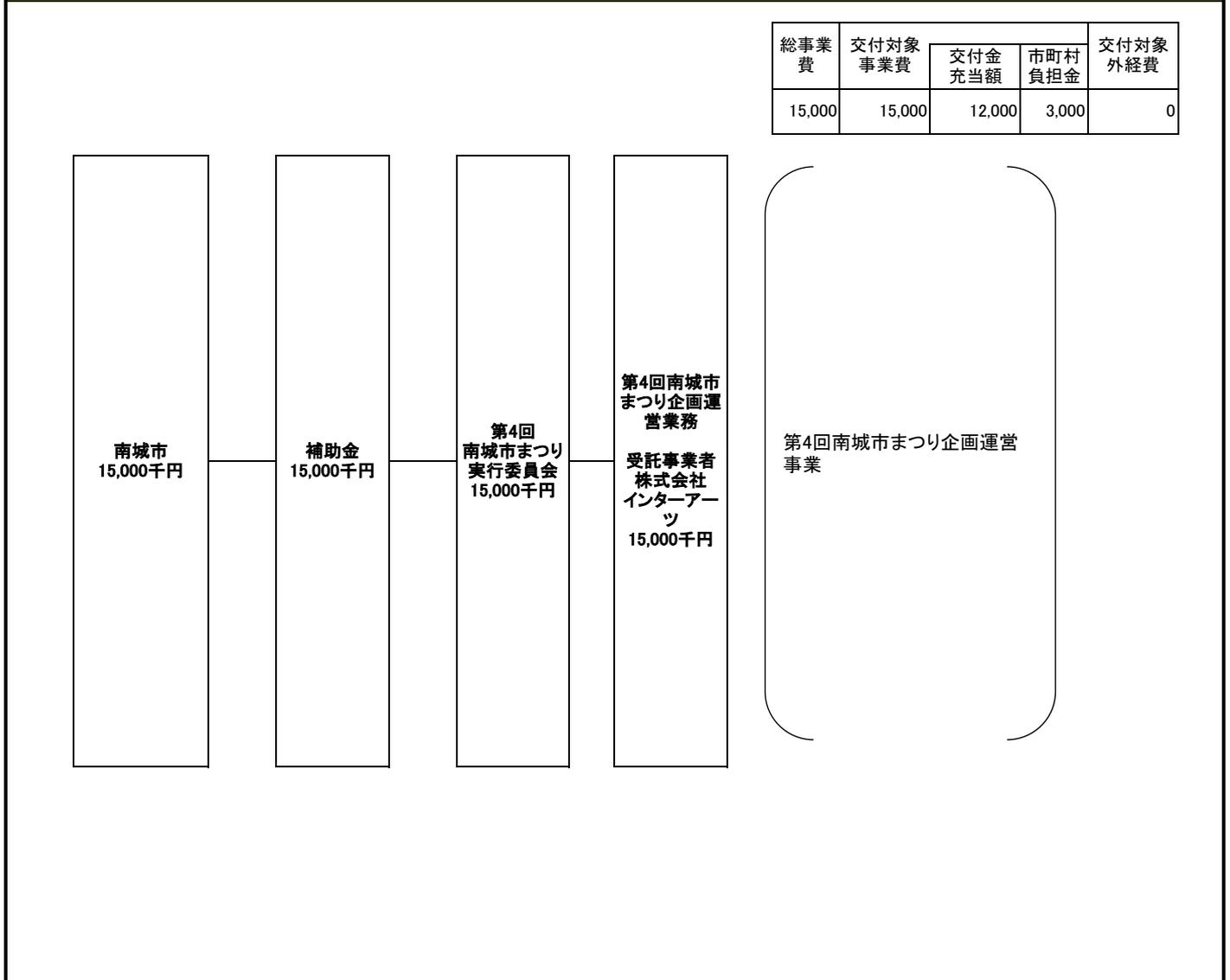
市町村名		南城市										
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	1-③		南城市まつり実行委員会支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ						
	担当部課名	企画部 観光商工課		事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備					
事業内容		第4回南城市まつりのコンセプトである「交流機会創出による地域活性化」の実現に資するとともに、新型コロナウイルス感染症の社会的影響に鑑み、感染防止対策やオンラインでの企画を取り入れるなど、新しい生活様式や各種関係ガイドラインに沿ったまつりを実施する。										
効果発現年度	■当年度      ■後年度(令和4年度)											
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )											
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		
		(a)当初予算額									41,257	
	(b)予算現額									15,000		
	(c)増減額(b-a)									▲26,257		
	(d)繰越額									-		
	A.計(b+d)									15,000		
	B.執行済額									15,000		
	うち交付金充当額									12,000		
	次年度繰越額									0		
	執行率(%) (B/A)									100.0%		
予算の状況の説明	当初、集客による通常開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、YouTubeを活用したオンライン開催に変更した。規模縮小による予算の減額。											
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況									
			H30年度		R1年度		R2年度		R3年度			
	南城市まつりの企画、運営	目標	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		実績										実施
	オンライン配信	目標	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( YouTube配信 )
		実績										YouTube配信
イベント等の分散実施	目標	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( 分散実施 )	
	実績										分散実施	
達成状況説明	南城市まつりの企画、運営については、プロポーザル方式で受託事業者を選定し、民間のノウハウを活かした取り組みを行うことができた。 ・オンライン配信 Youtubeを活用し、県内外、国外へ7日間配信することができた。 ・イベント等の分散実施 シュガーホールのメイン会場のほか、市公共駐車場ではテイクアウト市を実施した。また、花火を4か所に分散して打ち上げ											
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)					
	市外からの参加者のうち、「南城市が好きになり、また訪れたい」と回答した人の割合:80%以上	目標	( )	( )	( )	( 80% )	( )					
		実績					93%					
	【R4成果目標】市内滞在時間 1.65日以上	目標	( )	( )	( )	( )	( )	(1.65日以上)				
実績												
進捗状況説明	まつり期間中、Webによるアンケートと会場(テイクアウト市:市公共駐車場)内でのアンケート調査を実施した。結果、Webアンケート49件、会場アンケート53件の計102件の回答を得た。アンケートの設問12で南城市以外にお住まいの方を対象に「今回のまつりを観て、南城市に行きたいと思いましたか?(再訪含む)」に対し、はい、と答えた人の割合が93%であった。											

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・当まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1年ごしでの開催となった。コロナ過が続き疲弊する社会状況の中、新しい生活様式に合わせたイベントを開催できたことは、有意義であった。結果として、来訪意欲の向上につながったと考える。</p>	<p>・来訪意欲の向上に伴い、今後本市を訪れる方が多くなることが予想される。アフターコロナに向け、更なる観光メニューの充実を図る必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

・現在、第2次南城市観光振興計画(2018年度～2027年度)の中間評価の時期にあたることから、当該振興計画に基づくこれまでの取り組みの分析と評価を行い、検証および見直すことにより観光振興の更なる発展を目指す。引き続き多様なメニューの開発に取り組みとともに、開発した観光メニューの活用に向けて、観光関連事業所および観光協会との連携を強化する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募により、プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○開催内容等に応じた予算規模であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、実行委員会および委託事業者に対し、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南城市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	南城市デジタルアーカイブ実施事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部課名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	平成30~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立		
事業内容	歴史の継承及び観光誘客を図るため、本市の歴史・文化財・伝統芸能といった文化遺産のデジタルアーカイブ化を実施し、情報公開・発信を行う。令和3年度は、歴史資料のデジタルアーカイブ化及び公開、デジタルアーカイブを活用した観光誘客コンテンツについて追加制作、普及イベントを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額		6,310		37,024	39,185
	(b) 予算現額		6,310		36,390	38,454	
	(c) 増減額(b-a)		0		▲ 634	▲ 731	
	(d) 繰越額		-		-	-	
	A. 計(b+d)		6,310		36,390	38,454	
	B. 執行済額		6,245		36,121	38,381	
	うち交付金充当額		4,996		28,896	30,705	
	次年度繰越額		0		0	0	
	執行率(%) (B/A)		99.0%		99.3%	99.8%	
予算の状況の説明	事業計画どおりに執行を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	歴史資料のデジタルアーカイブ化及び公開	目標	( )	( )	( アーカイブ化及び公開 )	( アーカイブ化及び公開 )	
		実績			アーカイブ化及び公開	アーカイブ化及び公開	
	文化財観光コンテンツの追加制作:3エリア	目標	( )	( )	( 制作 )	( 制作 )	
		実績			制作	制作	
	普及イベントの実施	目標	( )	( )	( )	( イベント開催 )	
		実績				イベント実施	
運用ガイドライン策定	目標	( )	( )	( )	( 策定 )		
	実績				策定		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の文化財や歴史資料(紙媒体、写真、映像、音声、パネル)についてデジタルアーカイブ化し、「なんじょうデジタルアーカイブ」にて公開した。</li> <li>現地の案内板などのQRコードを読み込むと、デジタルアーカイブ化したその地域の昔の風景写真とそれにまつわる地域住民のエピソードを、3か国語(日本語・中国語・英語)のテキストと音声により解説する地域周遊型コンテンツ「南城アーカイブツーリズム」を制作した。</li> <li>デジタルアーカイブ普及イベント「南城市アーカイブ活用円卓会議」を開催、実施した。</li> <li>南城市のデジタルアーカイブを今後継続的かつ円滑に運用するための「運用ガイドライン」を策定した。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	文化財デジタルアーカイブを活用した観光コンテンツの利用者数	目標	( )	( )	( )	( 1,200人以上 )	( )
		実績				965人	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>R3年3月より文化財観光コンテンツ「南城アーカイブツーリズム」公開を開始し、4月からの利用者数を計測した。コロナ禍による影響や十分に認知されていないこともあり、目標数値にわずかに届かなかった。</li> </ul>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域周遊型コンテンツの公開により、本市の新たな観光資源として期待されるが、十分認知されているとはいえない状況である。</li> <li>・全国放送のニュースに取り上げられた際や公開資料を増やした際には利用者数が増加する傾向がみられるため、認知度の向上及び継続的な資料公開で更なる利用促進が期待される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民や県内外の方を問わず多くの方々へ周知するための普及促進活動を行い、認知度の向上に努める。</li> <li>・利用者の定着化(リピーター化)を促すために、定期的な新資料公開を行う必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・認知度向上を図るため、引き続きSNS等での情報発信を行い、普及促進の取り組みを行う。
- ・定期的に新資料を公開できるよう、本市の歴史・文化財・伝統芸能に関する資料についてデジタルアーカイブ化を進める。また、地域住民や地元自治会等に聞き取り調査を行い、資料の蓄積と内容の充実化を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
38,381	38,381	30,705	7,676	0



資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により選定しており、妥当である。 ○不要額は事業費の1%以内であり適正な規模であった。 ○費目・用途については精算時に検査を実施し、事業目的に即し必要なものに限定されていると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

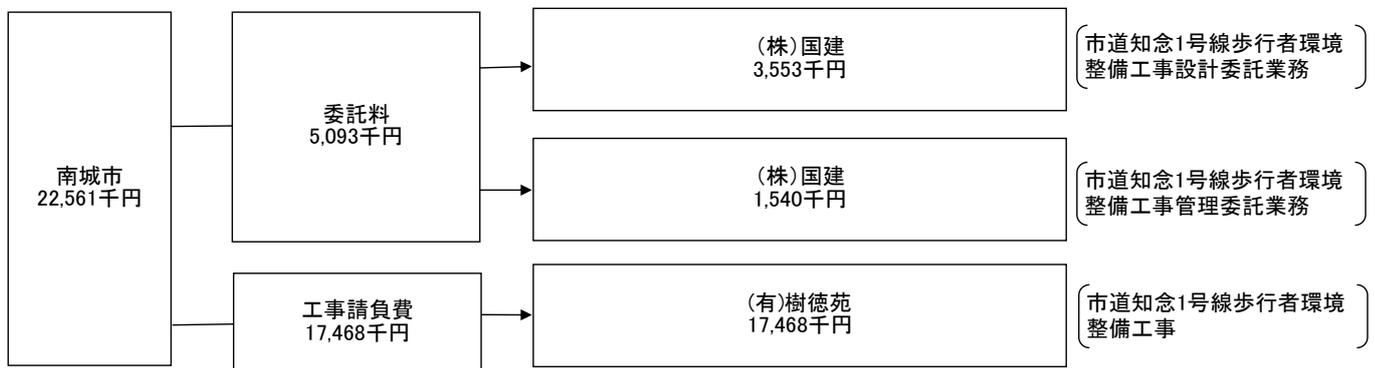
市町村名		南城市										
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	1-⑤		東御廻り等・体験交流受入整備強化事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア						
	担当部課名	企画部 観光商工課		事業実施(予定)年度		平成27～令和3年度	国際的な沖縄観光ブランドの確立					
事業内容	斎場御嶽を拠点に年間約40万人の観光客が訪れることから、集客エリアにおける環境整備を図り、受入体制を整え、更なる観光振興を図る。											
効果発現年度	■当年度      ■後年度(R4年度)											
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )											
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		
		(a) 当初予算額	82,842				7,863		25,376		65,000	
	(b) 予算現額	82,842				7,986		25,157		24,773		
	(c) 増減額(b-a)	0				123		▲ 219		▲ 40,227		
	(d) 繰越額	-				-		-		-		
	A. 計(b+d)	82,842				7,986		25,157		24,773		
	B. 執行済額	65,266				7,986		25,100		22,561		
	うち交付金充当額	52,212				6,388		20,080		18,048		
	次年度繰越額					0		0		0		
	執行率(%) (B/A)	78.8%				100.0%		99.8%		91.1%		
予算の状況の説明	概ね計画どおりに予算を執行した。											
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況									
			H30年度		R1年度		R2年度		R3年度			
	休憩施設(日陰棚及びベンチ)の設置		目標	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( 設置工事 )
			実績									設置工事
			目標	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		実績										
達成状況説明	参道である知念郵便局から斎場御嶽入口まで至る南城市知念道1号線に、休憩施設を3基設置した。											
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度		R2年度		R3年度		目標値(R4年度)		
	休憩施設(日陰棚及びベンチ)の設置完了		目標	( )	( )	( )	( )	( )	( 設置完了 )	( )	( )	
			実績						設置完了			
	【R4成果目標】 市内滞在時間 1.65日以上		目標	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	(1.65日以上)	
			実績									
進捗状況説明	市道知念1号線への休憩施設(日陰棚及びベンチ)の設置が完了した。											

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産として重要な文化財である斉場御嶽の雰囲気合う休憩施設を設置した。景観を崩さない様に地域関係者とも連携しながら定期的なメンテナンスを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>斉場御嶽休憩施設と景観として一体的な連携を目指し、文化財としてのブランド化を目指し、観光客の更なる滞在日数の増加を目指す。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>斉場御嶽の景観を守るため地域事業者と協議を図る。また快適な空間を守るため定期的な清掃活動を行う。</li> <li>南城市第2次観光振興計画見直し業務での調査結果を斉場御嶽周辺の景観形成にフィードバックする</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
22,561	22,561	18,048	4,513	0



資金の用途の流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○請負業者は入札方式で選定しており妥当である。</li> <li>○不用額は事業費の9%以内であり適切な規模であった。</li> <li>○費目、用途については完了時の検査を実施しており、目的に即し必要なものに限定されている。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

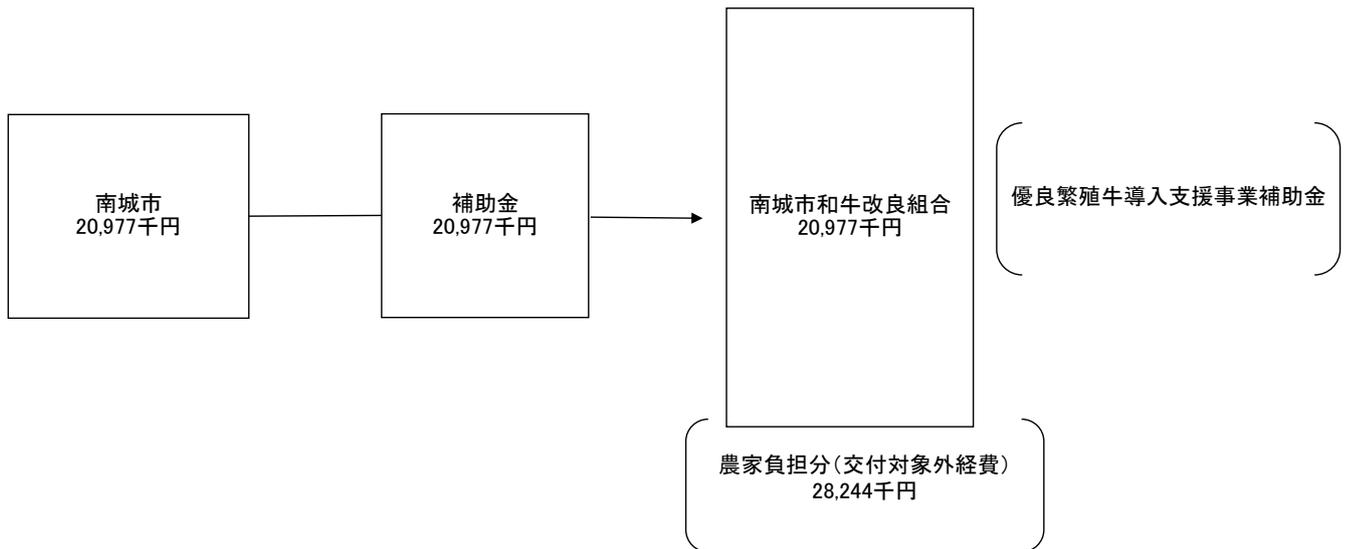
市町村名		南城市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	優良繁殖牛導入支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部署名	農林水産部 産業振興課		事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	和牛繁殖農家の経営の安定化に向け、畜産農家が生産する子牛の品質及び価格の向上を図るため、畜産農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対して支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	20,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	(b) 予算現額	20,000	25,000	25,000	21,276	20,923	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	▲ 3,724	▲ 4,077	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	20,000	25,000	25,000	21,276	20,923	
	B. 執行済額	19,129	22,727	22,074	20,566	20,977	
	うち交付金充当額	15,303	18,181	17,659	16,452	16,781	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	95.6%	90.9%	88.3%	96.7%	100.3%	
予算の状況の説明	当初予定していた事業内容は全て実施できた。市場における牛の価格変動により購入残額4,077千円を補正減した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	優良母牛導入支援	目標	( 50頭 )	( 50頭 )	( 50頭 )	( 50頭 )	
		実績	50頭	50頭	50頭	50頭	
	目標	(      )	(      )	(      )	(      )		
	実績						
達成状況説明	導入頭数目標の50頭導入を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値 (H28年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 (年度)	
		導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:117.1%以上	( 104% )	( 113% )	( 117.10% )	( 117.10% )	(      )
		実績	/	112.40%	110.50%	109.75%	/
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
	実績	/				/	
進捗状況説明	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合は105.7%となり、目標を達成することができなかった。 セリ平均価格 導入牛から産まれた子牛 (A) 712,396円(実績:629頭) 導入牛以外から産まれた子牛 (B) 649,093円(実績:3,876頭) (A)/(B)=109.75% ※当年度に導入した優良母牛から産まれた子牛は販売までに時間を要するため、これまでに導入した優良母牛から産まれた子牛のセリ価格で実績を算出。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	前年度と同様にコロナ禍での肉用牛の需要減少により、繁殖牛のセリ価格が低下している。また、飼料の高騰により繁殖牛農家の経営を圧迫している。	価格差の割合を上げるために血統の良い種や生まれて出荷するまでの子牛の体調管理を行い、質の良い子牛を提供する必要がある。また、繁殖牛農家の経営安定のために保留牛の出荷のサイクルを早める必要がある。

関係機関と連携して、飼養管理等の指導を行い、子牛の質の向上によるセリ価格の向上と、繁殖牛の分娩間隔の短縮による出荷頭数を増やし、農家の経営安定に繋げる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
49,221	20,977	16,781	4,196	28,244



資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選定方法については補助金交付要綱に基づき決定しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○当初予定していた事業内容をすべて実施し、適切な規模だった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である農家は総事業費の5割以上を負担しており、事業内容から判断して妥当であると考えられる。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業費の確定時において検査、確認をしており、用途は目的に則し、必要な物に限定されている。

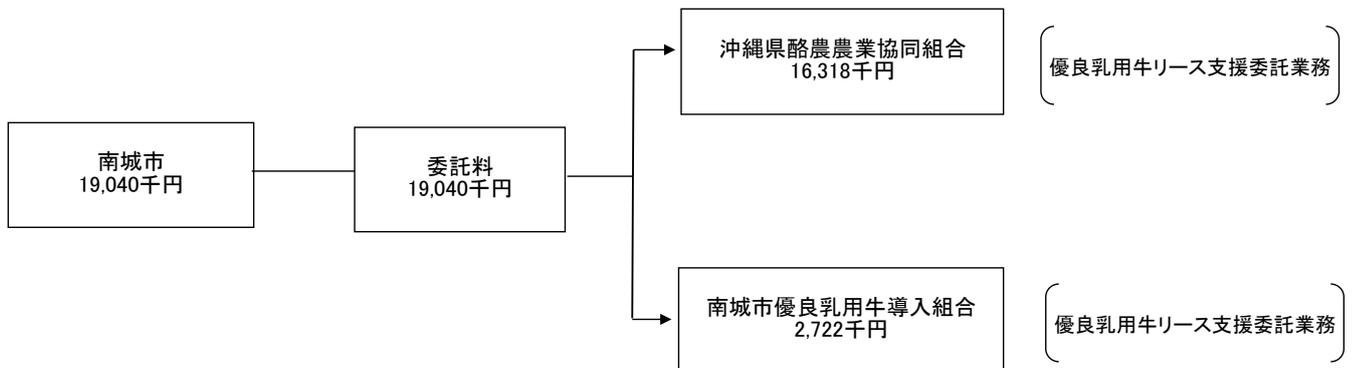
市町村名		南城市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	優良乳用牛リース支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部署名	農林水産部 産業振興課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	酪農家経営安定化に向け、乳用牛の生産乳量の増加と乳質の向上を図るため、酪農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	20,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	(b) 予算現額	20,000	25,000	25,000	22,500	21,415	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	▲ 2,500	▲ 3,585	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	20,000	25,000	25,000	22,500	21,415	
	B. 執行済額	19,973	24,423	20,887	21,415	19,040	
	うち交付金充当額	19,978	19,538	16,709	17,132	15,232	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.9%	97.7%	83.5%	95.2%	88.9%	
予算の状況の説明	当初予定していた事業内容はすべて実施できた。市場における牛の価格変動により購入残額3,585千円を補正減した。不用額2,375千円はその後の購入残額である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	優良乳用牛導入支援	目標	( 50頭 )	( 50頭 )	( 50頭 )	( 50頭 )	
		実績	50頭	50頭	50頭	50頭	
	目標	(            )	(            )	(            )	(            )		
	実績						
達成状況説明	導入頭数目標の50頭導入を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(H28年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		目標	(7,824kg以上)	(7,860kg以上)	(7,824kg以上)	(7,988kg以上)	(            )
	生産乳量(1頭):7,824kg以上/年	実績		7,988kg	8,543.5kg	8,917.9kg	
		目標	(3.89%以上)	(3.89%以上)	(3.87%以上)	(3.87%以上)	(            )
	乳質(脂肪率):3.87%以上	実績		3.87%	3.98%	3.98%	
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>生産乳量目標7,988kg以上に対して実績が8,917.9kgとなり、目標値を達成できた。</li> <li>乳質(脂肪率)の向上3.87%以上に対して実績が3.98%となり、目標値を達成できた。</li> </ul>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	乳量、乳質ともに安定しているが、飼料の高騰等もあり、老齢牛の更新は思うようにすすんでいない。	今後も安定とした乳量、乳質を確保できるよう導入支援の継続が必要。

今後の取り組み方針
農家への適切な管理指導並びに導入支援を行い農家の意欲向上、乳用牛経営基盤の強化に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
19,040	19,040	15,232	3,808	0



資金の流 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先の選定については、地方自治法及び本市の財務規則に基づき随意契約しており妥当である。 ○不用額が生じたが、市場の牛の価格変動によるものであり、当初予定していた事業内容は全て実施し、適正な規模であった。 ○事業費の確定時において検査、確認しており、用途は目的に即し、必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

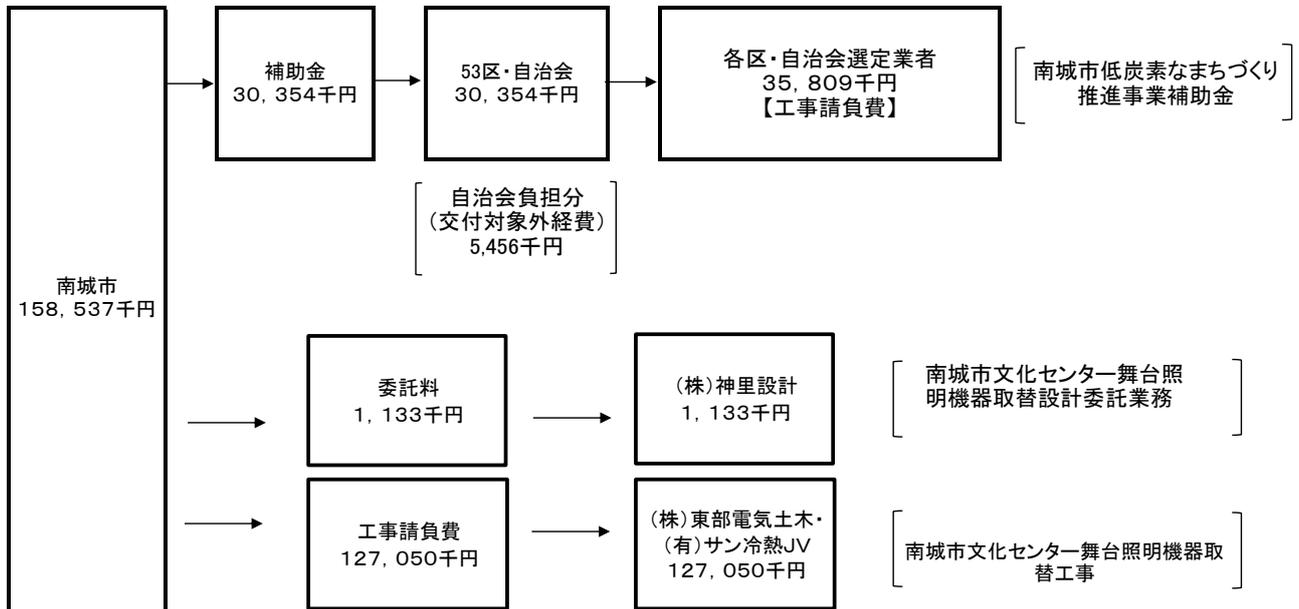
市町村名		南城市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 低炭素なまちづくり推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ウ		
担当部課名	市民部 生活環境課 企画部 まちづくり推進課		事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	低炭素都市づくりの推進 Ⅲ-10-(1)	
事業内容	防犯灯の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替え、温室効果ガスの排出削減を図る。また、南城市文化センターシュガーホールの舞台照明をLED機器に取替え、温室効果ガスの排出削減を図る。						
効果発現年度	■当年度      □後年度(      年度)						
実施方法	□直接実施      ■委託      ■補助      □負担      □その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	42,519	68,024	18,900	51,570	32,778
		(b) 予算現額	42,519	53,461	18,900	51,570	158,537
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 14,563	0	0	125,759
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		42,519	53,461	18,900	51,570	158,537
	B. 執行済額		30,403	51,132	18,884	51,533	158,537
	うち交付金充当額		24,322	40,905	15,107	41,226	126,829
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		71.5%	95.6%	99.9%	99.9%	100.0%
予算の状況の説明		市の公共施設において文化センターの温室効果ガス排出量が大きく、その中でも舞台照明機器のLED化を図ることが効果的であることから事業費を増額し実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	既存防犯灯のLED化607灯	目標	( LED照明器具への切り替え )	( 約350本 )	( 955灯 )	( 607灯 )	
		実績	LED照明器具への切り替え	371本	970灯	568灯	
	南城市文化センターの舞台照明等LED化一式の実施	目標	( )	( )	( )	( 実施 )	
実績					実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付団体が保有する防犯灯について、予算の範囲内の補助としており、当初607灯の切替を予定していたが、補助金交付団体の申請が実施段階で少なかった。</li> <li>・南城市文化センターの舞台照明機器LED化について当初予定通り達成できた。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	二酸化炭素排出量の削減 防犯灯 62,901kg-CO2以上/年 削減	目標	( )	( 36,000kg-CO2/年 )	( 98,963kg-CO2/年 )	( 62,901kg-CO2/年 )	( )
		実績		57,473kg-CO2/年	177,294kg-CO2/年	93,821kg-CO2/年	
	南城市文化センターの舞台照明等LED化一式の完了	目標	( )	( )	( )	( 完了 )	( )
		実績				完了	
【R4成果目標】 南城市文化センター舞台照明 27.48t/年 削減		目標	( )	( )	( )	( 27.48t/年 )	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯灯のLED化に関して、二酸化炭素排出量の削減目標値62,901kgに対し、実績値は93,821kgとなり、目標を上回った。</li> <li>・南城市文化センター舞台照明のLED化も完了した。</li> </ul>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	更なる温室効果ガス削減のためには、行政だけでなく民間を含めた社会全体として温室効果ガス削減を目指す必要がある。	社会の構成要素である家庭から、温室効果ガス削減に取り組んでもらえるよう意識啓発を図る必要がある。

今後の取り組み方針
家庭でも取り組める温室効果ガス削減策として、本事業での取り組みを広報誌等で市民の方々に周知し、地球温暖化対策の意識啓発を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
163,993	158,537	126,829	31,708	5,456



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金に対しては、各自治会へ周知を行い、希望する自治会に対し補助を行った。また、工事についても指名競争入札を実施し選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、予算執行率92.6%であり、適正な規模と判断した。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については、各自治会において総事業費の1割及び電力申請料等の補助対象外経費を負担しており、他市町村における同様事業における負担割合と比較しても妥当であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については、完了検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		南城市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	学習支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
担当部課名	教育部 教育指導課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うため、学習支援員を配置し、学力の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	18,480	17,640	17,640	17,928	19,422
		(b) 予算現額	15,848	17,640	17,640	17,928	17,357
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,632	0	0	0	▲ 2,065
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		15,848	17,640	17,640	17,928	17,357
	B. 執行済額		15,677	12,506	14,650	14,751	14,973
	うち交付金充当額		12,541	10,005	11,720	11,801	11,978
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.9%	70.9%	83.0%	82.3%	86.3%
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休校となった影響もあり、不用額2,384千円が生じたが、概ね予定通り事業を実施することができた。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	市立8小学校へ学習支援員9名配置	目標	8小学校 (学習支援員8名)	8小学校 (学習支援員8名)	8小学校 (学習支援員8名)	8小学校 (学習支援員9名)	
		実績	8小学校 学習支援員延べ9名	8小学校 学習支援員延べ9名	8小学校 学習支援員延べ8名	8小学校 学習支援員延べ12名	
	市立4中学校へ学習支援員4名配置	目標	4中学校 (学習支援員4名)	4中学校 (学習支援員4名)	4中学校 (学習支援員4名)	4中学校 (学習支援員4名)	
		実績	3中学校 学習支援員3名	4中学校 学習支援員延べ5名	4中学校 学習支援員延べ4名	4中学校 学習支援員延べ6名	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校は、新型コロナウイルス感染症における感染リスク等の理由により、2校において予定どおりに支援員を配置することができなかった。</li> <li>・中学校は、教諭の臨任で中途採用があり予定どおり支援員を配置することができなかった。</li> </ul>						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率の差 小学校:県平均以上	目標	( )	(県平均以上)	(県平均以上)	(県平均以上)	( )
		実績		県平均 59.4 小学校 58.5 △0.9	県平均 57.2 小学校 55.5 △1.7	県平均 55.2 小学校 51.8 △3.4	
	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率の差 中学校:県平均以上	目標	( )	(県平均以上)	(県平均以上)	(県平均以上)	( )
		実績		県平均 54.3 中学校 54.0 △0.3	県平均 51.0 中学校 51.5 0.5	県平均47.8 中学校 45.7 △2.1	
	進捗状況説明	沖縄県学力到達度調査を県平均と比較すると、小学校では△3.4ポイント、中学校では△2.1ポイントと県平均には届かず目標は未達成となった。 中学校においては、5校中2校が県平均を上回ったものの3校は県平均に届かなかった。 小学校においては、9校中5校のみが、県平均を上回ったものの4校は県平均に届かなかった。					

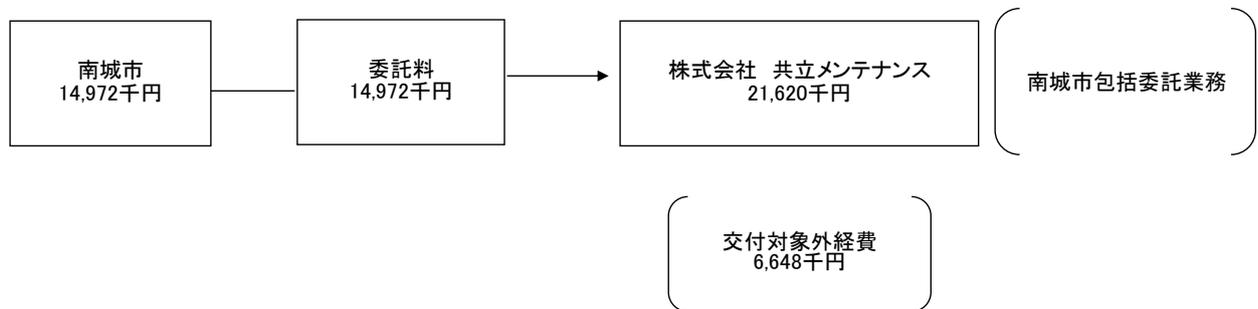
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校においては、1年生の英語が△3.8ポイント、2年生の数学が△3.2ポイント県平均を下回っており、平均値を下げる結果となっている。</li> <li>・また、小学校においては、9校中5校のみが、県平均を上回ったものの4校は県平均に届かず、目標は未達成となった。5年生の国語が△4.4ポイント、算数の6年生の算数が△5.9ポイント県平均を下回っており、平均値を下げる結果となっている。</li> <li>・支援員人材不足の中、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、支援員が年度途中で辞めてしまうと、新たな支援員をすぐに配置(確保)できない状況がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県学力到達度調査の結果を受けて、小・中学校における基礎学力の定着に向けた取り組み方を見直す必要がある。</li> <li>・また、通常の授業についていけない児童・生徒の個々の能力に応じた適切な学習支援の方法のあり方についても見直す必要がある。</li> <li>・新型コロナ感染症拡大に伴う臨時休業措置等による教育格差の影響がないよう努める必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業措置等による教育格差の影響がないよう更に、基礎学力の定着に向け、担当教諭や学年主任等と連携を密に図り、学力の低下が見られる児童・生徒の個々の能力に応じた適切な学習支援に取り組んでいく。今後も効果的な支援を行っていくために、学力向上に向けて効果のあった方法・事例等について研修会ならびに情報交換を行い、各学校の取り組みについて工夫改善に取り組んでいく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
21,620	14,972	11,978	2,994	6,648



資金の流 点検 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○概ね予定通り事業実施でき、事業規模も適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認しており、適正であった。

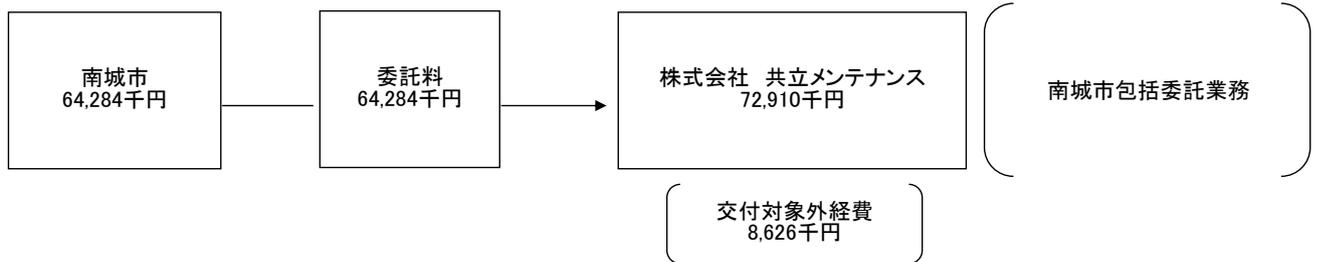
市町村名		南城市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	特別支援教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ	
担当部課名	教育部 教育指導課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	特別な支援を要する園児・児童・生徒に対応した支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	73,663	74,955	74,955	76,585	76,585
	(b) 予算現額	73,663	74,955	74,955	76,585	69,085	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	▲ 7,500	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	73,663	74,955	74,955	76,585	69,085	
	B. 執行済額	58,333	62,548	54,109	53,149	64,285	
	うち交付金充当額	46,666	50,038	43,287	42,519	51,427	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	79.2%	83.4%	72.2%	69.4%	93.1%	
予算の状況の説明	年度当初より、支援員配置計画に基づき支援員の目標数確保を目指していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止による響もあり目標数を確保する事が出来ない状況があった。不用額4,800千円が生じたが事業内容は概ね実施できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	5幼稚園:特別支援教育支援員12名配置	目標	( 12名 )	( 12名 )	( 12名 )	( 12名 )	
		実績	延べ14名	延べ12名	延べ24名	延べ29名	
	8小学校:特別支援教育支援員34名配置	目標	( 38名 )	( 36名 )	( 34名 )	( 34名 )	
		実績	延べ42名	延べ32名	延べ31名	延べ35名	
	4中学校:特別支援教育支援員8名配置	目標	( 4名 )	( 6名 )	( 8名 )	( 8名 )	
実績		4名	延べ6名	延べ8名	延べ7名		
達成状況説明	特別支援教育支援員配置計画に基づき、概ね適正な配置により支援を行うことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	目標	(      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(      )
		実績		88.5%	86.3%	86.3%	
	進捗状況説明	・新型コロナウイルス感染症拡大の状況下ではあったが、学級担任等との密な連携によりきめ細やかで適切な支援を行うことで、学習面や学校生活面でのサポート体制の強化に繋がり、より良い変化が見られ、保護者に対して満足度を調査した結果86.3%の保護者から満足しているとの結果を得ることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>幼・小・中学校に在籍する特別な支援を要する園児・児童・生徒に対して、支援員を配置し、担任教諭等との連携により適切な対応を行うことで、障害から生ずる個々の困り感を克服し、落ち着いて学習活動に取り組めるようになるなど自立を促した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止による学校臨時休業等により、学校(園)の環境や学習環境にうまく適応できない園児、児童、生徒の対応が求められる中、保護者の満足度において目標を達成できている。</p> <p>支援を要する園児・児童・生徒が年々増加傾向にあり、年度当初の配置計画どおりに支援員が配置(確保)できない状況がある。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応に努めながら、特別支援教育の質が高まるよう、年々増加する対象園児・児童・生徒に対応する方法等を含めた研修について、委託事業者と連携しながら検討していく。</p> <p>また、各学校に配置されている特別支援コーディネーターとの連携をより強化し、個々の実態に応じた適切な支援を行っていく。</p>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育支援員連絡会の充実化を図るため、特別支援コーディネーターと支援員の役割を明確にし連携強化に取り組む。</li> <li>・引き続き、支援対象児等のケアや担当教諭等へ専門的知見から作業療法士等による指導、助言を行う。</li> <li>・支援を要する児童・生徒向けに、認知能力強化のためのトレーニング等を部分的に実施する。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
72,910	64,284	51,427	12,857	8,626



資金の流 れ、費 目 ・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募プロポーサル方式により、企業組織、実績等を勘案した上で選定しており妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○欠員が生じた学校に支援員を配置するまでに時間を要したことや、コロナ禍の影響もあり、不用額は出ているが、概ね事業内容を実施することができ、予算規模は適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南城市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	学習支援教材ソフト整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章—5—(3)—ア	
担当部課名	教育部 教育指導課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	教育環境の充実を図り、将来の沖縄振興に資する人材を育成するため、令和3年度は、市内中学校5校(久高中含む)にデジタル教科書を整備する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額					6,656
	(b) 予算現額					5,909	
	(c) 増減額(b-a)					▲ 747	
	(d) 繰越額					—	
	A. 計(b+d)					5,909	
	B. 執行済額					5,909	
	うち交付金充当額					4,727	
	次年度繰越額					0	
	執行率(%) (B/A)					100.0%	
予算の状況の説明		当初計画どおり予定していたデジタル教科書の整備を実施できた。747千円は入札残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	市内中学校5校(久高中含む)に、主要教科書のデジタル教科書を整備する	目標	(    )	(    )	(    )	( 整備 )	
		実績				整備	
		目標	(    )	(    )	(    )	(    )	
実績							
達成状況説明	当初計画どおり市内中学校5校にデジタル教科書を整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上	目標	(    )	(    )	(    )	( 85% )	(    )
		実績				90%	
		目標	(    )	(    )	(    )	(    )	(    )
実績							
進捗状況説明	生徒にアンケートを実施し、電子黒板を使用した授業は分かりやすかったとの回答が9割おり、成果目標を達成することができた。						

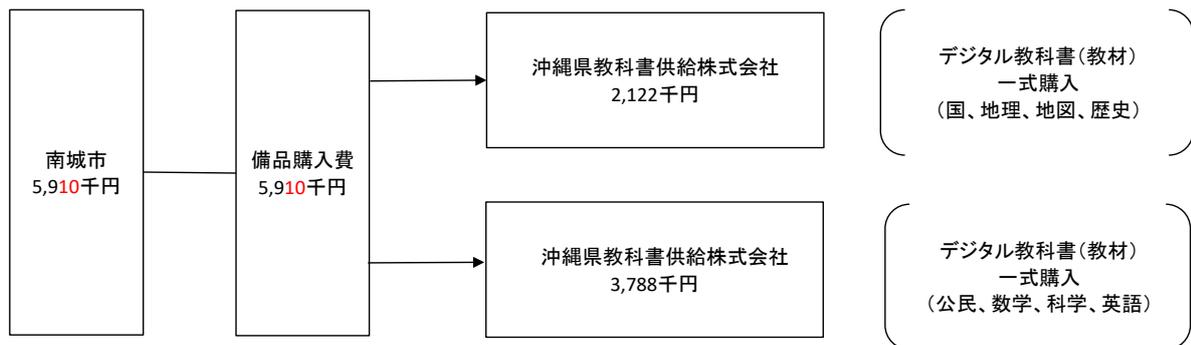
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・教科ごとにデジタル教科書の操作方法が異なるため、扱う教員の知識や技能の差が生じており、授業の質を確保する必要がある。</p>	<p>・授業の質を確保するためICT支援員の派遣を行い、教員の知識や技能に合わせた支援体制を強化する必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

・教員のみでもデジタル教科書を活用した分かりやすい授業づくりができるようにするため、ICT支援員による助言や活用事例の紹介、研修会の開催などを行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
5,910	5,910	4,727	1,183	0



資金の流 れ、 検 査 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○随意契約での執行となっているが、教科書供給業者は専売代理店となっており、妥当であったと考えている。</p> <p>○執行率は適正な規模であった。</p> <p>○費目・用途については、完了後に検査を実施しており事業目的達成のため、必要であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南城市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-④	ICT支援員派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育部 教育指導課	事業実施(予定)年度	令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	県民生活を支える人材の育成 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を確保するため、市内の小中学校にICT支援員を派遣する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)						30,624
							9,570
							▲ 21,054
							0
							9,570
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額						9,570
							7,656
							0
		執行率(%) (B/A)					100.0%
	予算の状況の説明	配置人数の見直し(4人→2人)と実施時期の変更(4月開始→6月開始)及び一部業務を「GIGAスクールサポーター(文科補助)」に置き換えたことにより21,054千円減となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	市内13小中学校にICT支援員2人を派遣する。	目標	(      )	(      )	(      )	(      2人      )	
		実績				2人	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	
	実績						
達成状況説明	ICT支援員2名を配置し南城市立各小中学校へ派遣することが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上	目標	(      )	(      )	(      )	(      85%以上      )	(      )
		実績				96.3%	
	・教諭にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が80%以上	目標	(      )	(      )	(      )	(      80%以上      )	(      )
		実績				60.2%	
進捗状況説明	・ICTを活用した授業について分かりやすかったと回答は目標より11.3%上回る結果となった。 ・教諭へのアンケートとしてICT機器の習熟度が上がったとの回答は目標より19.8%下回り目標に届かなかった。						

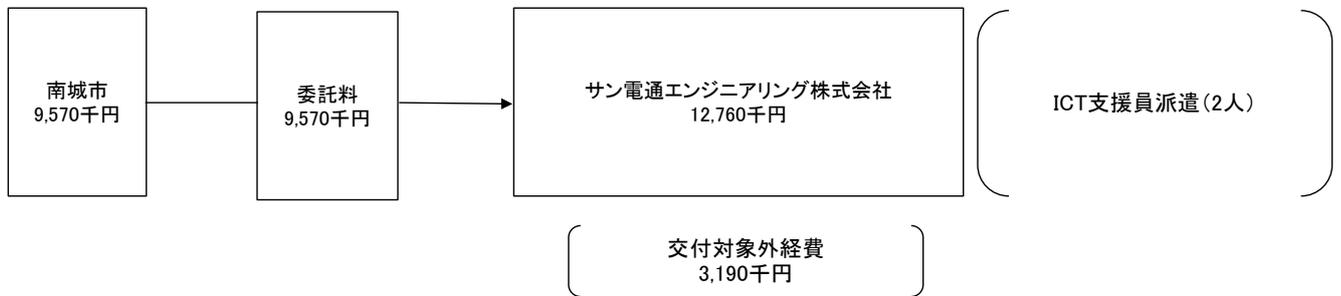
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ICT機器の操作方法や活用事例の共有方法に課題があり教職員全体への支援が行き届いていなかった。	本事業実施により蓄積した知識や経験を、研修やクラウドでの共有といった形で教職員全体へ共有を行い。ICT機器の習熟度の向上に繋げて行く必要がある。

**今後の取り組み方針**

本事業実施により蓄積した活用事例や知識を、教職員向けの研修やクラウド共有することにより、教職員全体へ情報共有を行いICT機器習熟度向上を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
12,760	9,570	7,656	1,914	3,190



資金の流 れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募プロポーサル方式により、企業組織、実績等を勘案した上で選定しており妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行率は適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については、完了後に検査を実施しており事業目的達成のため、必要であった。

市町村名		南城市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	なんじょう歴史文化保存継承事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)	
事業内容	地域の文化財や伝統行事、沖縄戦に関することなど、本市の歴史・文化について調査研究・整理した図書を作成し、活用することで、歴史・文化の継承を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	29,553	15,627	25,315	17,679	21,093
	(b) 予算現額	29,553	15,627	25,315	17,679	18,582	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	▲ 2,511	
	(d) 繰越額	—	—	—	—	—	
	A. 計(b+d)	29,553	15,627	25,315	17,679	18,582	
	B. 執行済額	27,245	13,354	21,860	17,110	18,259	
	うち交付金充当額	21,795	10,683	17,488	13,688	14,606	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	92.2%	85.5%	86.4%	96.8%	98.3%	
予算の状況の説明	概ね事業計画どおりに執行できた。不用額323千円は、印刷製本、印刷物郵送、手当等の残などによるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	「南城市の民俗」「大里の民話」刊行(350部)	目標	(『戦争』会議4回、原稿執筆)	(『資料集 戦争』: 会議(4回)、刊行(400部))	(「沖縄戦 証言編」刊行(400部))	(「南城市の民俗」「大里の民話」刊行(350部))	
		実績	『戦争』会議3回、調査12回、原稿執筆	『戦争』会議(3回)、刊行(400部)	「沖縄戦 証言編」刊行(500部)	「南城市の民俗」「大里の民話」刊行(350部)	
	「民俗編」会議(2回)、調査、原稿執筆	目標	(『民俗』会議2回、検討会議3回、調査・資料収集100回)	(『民俗』会議(2回)、原稿執筆)	(「民俗編」会議(2回)、調査、原稿執筆)	(「民俗編」会議(2回)、調査、原稿執筆)	
実績		『民俗』会議2回、検討会議0回、調査・資料収集27回、原稿執筆	『民俗』: 会議(1回)、原稿執筆	「民俗編」会議(なし)、調査、原稿執筆	「民俗編」会議(なし)、調査、原稿執筆		
学習会の開催(2回)	目標	(      )	( 学習会:(1回) )	( 学習会(2回) )	( 学習会(2回) )		
	実績		中止	中止	学習会(1回)		
達成状況説明	・「南城市の民俗」「大里の民話」を刊行(350部)した。 ・「民俗編」は、委員との個別調整により当年度の目標である原稿完成を達成することができたため、会議は実施しなかった。 ・学習会は、「大里の民話」をもとに民話劇を作成し、大里南小学校で上演した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	学習会の参加人数: 30人以上×2回	目標	(      )	( 30人以上 )	(30人以上/2回)	(30人以上/2回)	(      )
		実績			中止	中止	79人/1回
進捗状況説明	学習会は小学生を対象に「大里の民話」の民話劇を上演したが、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、1回の実施にとどまった。事業における調査成果を可能な限り普及啓発するため、民話劇の様子を撮影しウェブ上で動画配信を行った。						

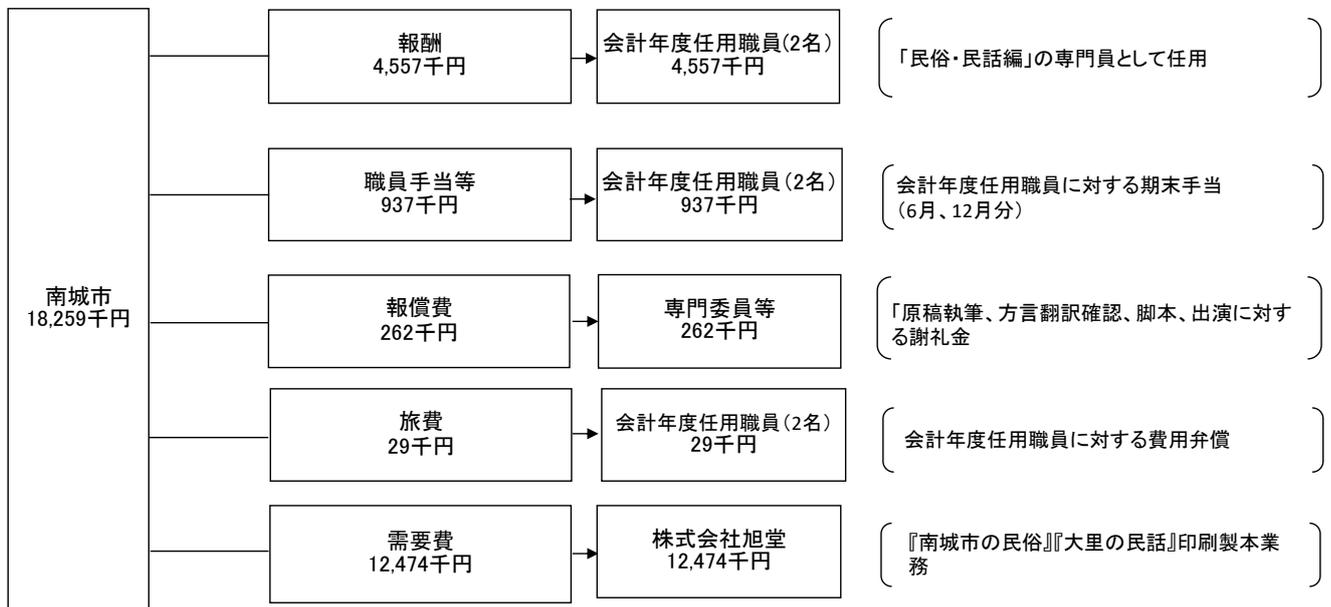
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・学習会は、調査成果を可能な限り普及啓発するため、新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ、対面による実施だけでなく、状況に合わせた手法を取り入れる必要がある。</p>	<p>・刊行物や調査成果を活用した学習会等は、対面による実施のほか、ウェブ配信等での実施やデジタルアーカイブの活用などを検討する。</p>

**今後の取り組み方針**

・新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見通せない状況のため、対面による普及啓発だけでなく、過去の刊行物や調査成果等をデジタルアーカイブ化がすることでいつでも利用可能な状態にし、地域住民や児童生徒が学習等に活用できるようにコンテンツを充実させ普及啓発に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
18,259	18,259	14,606	3,653	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行残は1.7%であり適正な予算規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途は精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要であったと判断した。

市町村名	南城市						
<b>令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	6-①	南城市佐敷・玉城IC周辺地区現況基礎調査事業					
担当部課名	企画部 企画課	事業実施(予定)年度 令和3年度					
		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 多様な主体間の連携と交流、協働により安心して住み続けることができる地域づくり					
事業内容	南城市佐敷・玉城IC周辺地区へバスターミナル整備を含めた一部の公共機能とまちに不足する機能を集約(確保)するために現況基礎調査を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額					11,077
		(b) 予算現額					11,077
		(c) 増減額 (b-a)					0
		(d) 繰越額					0
		A. 計 (b+d)					11,077
	B. 執行済額						11,066
	うち交付金充当額						8,852
	次年度繰越額						0
	執行率 (%) (B/A)						99.9%
予算の状況の説明		当初予定通りの予算執行をすることができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	現況基礎調査(測量業務、課題整理等業務)の実施	目標	( )	( )	( )	(完了)	
		実績				完了	
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	予定どおり現況基礎調査(測量業務、課題整理等)を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	現況基礎調査(測量業務、課題整理等)の完了	目標	( )	( )	( )	(完了)	( )
		実績				完了	
	【R4成果目標】 市民が必要とする機能、まちに不足する機能を1機能以上決定する。	目標	( )	( )	( )	( )	(1以上)
		実績					
進捗状況説明	予定どおり現況基礎調査(測量業務、課題整理等)を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	佐敷・玉城IC周辺地区において現況基礎調査を行い課題等の整理ができた。今後は、市民が必要とする機能、まちに不足する機能を整理し、誘致等を行う機能を決定していく。	南城市の都市拠点として快適・便利な都市づくりを進めるため、不足する機能(就業、求心力のある商業、公共交通、高等学校等)の選定に対し、既存の公共施設の統廃合の検討を進める必要がある。

今後の取り組み方針
本事業で行った現況基礎調査結果を踏まえ、まちに不足する機能(就業、求心力のある商業、公共交通、高等学校等)の選定を行う。不足する機能のうち、既存の施設の統廃合を行い、必要な施設を集約するなどの検討を行っていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,066	11,066	8,852	2,214	0



資金の流 れ、 費 目 ・ 検 査 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○執行率は99.9%であり適正な規模であった。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については委託業務完了後に検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	